

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏みらいこども学園		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園と同様なビルの中にあり、常に乳幼児教育に関する情報共有及び連続的(目つ切れ目のない)体制から職員間での子どもの様子をより的確に情報を共有し、職員・保護者・子どもたちとの共通理解もよりなされている	一人ひとりにあった教育を推進しつつ、保育園の共同生活における様子を的確目つ迅速に関係者(3者:児童発達職員・保育士・保護者)でサポートし合っている	理事長研修、法人役員(医師であり大学教授)の研修及び大学との連携による研修を取り組む
2	児童発達管理責任者及び職員が常に利用がない日でも事業者や保育園にサポートできる体制を構築しており、日々の生活や子どもの様子を3者間で共通理解がされている		同業者であるインクルーシブ研修や職員間研修、見学研修に取り組む
3			児童発達及び保育園での生活情報を、より情報収集しその利用にあった教育論を尊重しつつ、自己教育に活かすよう視点を変え相互の理解を深める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	立上げ元年度であり、後手後手のサポートになっているのより迅速に体操できるような体制創りから再構築	日々職員と保護者は登降園の際に情報交換はできている、事業所として保護者同士の顔合わせ・交流の機会がなかった。	保育園の行事と共同し、関係者との情報共有の機会が作れるよう検討する
2	本事業の内容発信や見学をより積極的目つSNS等での発信を積極的に推進する		
3			